

①『家の哲学』と②『家の正義』
その①

アサヒグローバル株式会社 文/久保川議道
代表取締役 Yoshimichi Kubokawa



全ての「社長のひとりごと」がWEBで読める!
『くぼかわよしみち.com』毎月20日更新!!

ホームページ

agg-hd.co.jp

asahiglobal.co.jp
global-mie.co.jp
super-chintai.com
goldtrust.co.jp
goldage.co.jp
kubokawayoshimichi.com

くぼかわよしみち.com

検索

①家の哲学。つてなんか難しそうな話
しですね。私はもう20年以上前にこ
の『家の哲学』を文章にして社員さん
全員に配布しました。次のページに全
文を載せましたので見てください。
別に何も難しいことは書いてあり
ませんね。なんか変なことばかり書い
てあつて、いったいこれは何なんだ...?
私の言いたい気持ちがお分かりいた
だけないと、私も辛いのですが...。ま
あ一言で言つて、今住んで居る所が『
戸建』でも『アパート』でも『高齢者住
宅』でもいいのですが、住んでいる所は
自分にとつてはかけがえのない場所だ
あると言ふこと。そして一人一人のお
気持ちの中には、それぞれの住まいに
対する強い思い入れがありますよ。
と私は言いたかつたんですね。
私は今でもその時その時によつて違
うのですが、この自分で書いた文章の
2つか3つを読むと涙が出てしまふん
ですね...。悲しみをささえ苦しみを
共に苦しむ『守る家』。喜び希望挫折
苦しみ『ささえる家』。伝統性格体格
心おもいやり『引き継ぐ家』。憎しみ
不安不信怒り誤解『癒す家』...。
私は今少し苦しいことが多いので、
これらの言葉に反応しています。家
族で住んでいても、お一人で住んでい

も、住まいはずっといつもあなたを見
守っているんですね。私は本当にそう
感じているので『家づくりの仕事』を
もの凄く大切な仕事として一生懸命
にしているのですが、ご理解いただけ
ますでしょうか。
生まれる生命育つ力育む命『菓立
つ家』。家族のきずな生きる喜び楽し
み『喜ぶ家』。結婚夫婦妊娠赤ちゃん
『生まれる家』。一人みんな笑い話す
『共感する家』。思い出出来事ハプシ
グあの時この時『記憶する家』...。
どうでしょうか何かお感じになら
れることはありませんか...。神棚や仏
壇には皆さんが手を合わせますが、
時々は今自分の住んでいる部屋や家
に手を合わせてみてはいかがでしょう
か。『この部屋』に、『この家』に感謝す
ることによつてきつと必ずあなたは
『家の哲学』を感じて、住まいの大切
さを実感されると思います。それ程、
『家とは世の中で一番大切なもの』だ
と私は考えているんですね。
私にとつての家の記憶は4歳からで
す。戦後10年頃の『木造のガタガタの
住宅』でした。そこで伊勢湾台風を経
験したのが小学校2年生。避難が遅
れて逃げられずに居るところへ土壁
が崩れてきて、うちのおばあちゃんが

『私はここで死ぬ』なんて騒いでいま
したね。6年生の頃に自分で『勉強部
屋』を納屋の中に作つて、移り住みま
した。高校大学の私の家は『寮生活』
でしたから、一部屋で2段ベッドに3、
4人の生活を7年間体験して、22歳
で就職してからは『木賃アパート』の
2階の一室。トイレ共同で風呂無しで
すね。
23歳で結婚して、自宅に増築した
木造2階の『6帖一間』の生活。しかし
天国のような楽しい生活でした。28歳
で『鉄骨3階建て』。38歳で『大型輸入
住宅』。今は東京や名古屋の『マンショ
ン』、ハワイやオーストラリアの『大型コ
ンドミニアム』にも生活の幅が広がつて
います。もうすぐマレーシアやファイリ
ピンにも私の住宅が完成しますので
楽しみです。あとはドバイ、ロス、ニュ
ヨークにも住んでみたいものです。
余計なことまで書いてしまいました
たが、私の住宅への思い入れはやはり
異常ですね。家族にも『もう付いてい
けない』と言われてしまつています。完
全に病気です。しかし私にとつては人
の家でも私の家でも、家とは世の中
で一番大切なもの...です。これからも
その心を忘れずに『家づくり』に励み
たいものです。
(②へ続く)